一般質問

平成18年度予算編成は

小杉邦男　議員

質問 財政の厳しさが指摘されているなか、平成18年度予算に対する財源の見通しと施策実行への考えを聞く。

市長 市民税は、定率減税の見直し等による一定の増収を見込めるが、固定資産税が評価替えの影響で減収となる。

また、地方交付税の削減も見込まれ、歳入に見合う予算づくりに努めたい。住みよい島づくりのため、環境・少子化対策・産業振興・教育・文化等主要施策に取り組みたい。

組織改革はどうなるのか

質問 部制による6部の新設、12課を増すという組織改革に、市民から屋上屋を架すものではないかとの批判があるが市長の考えを質す。

市長 職員の資質向上と教育を実施して、速やかな意思決定のできる組織に努めたい。

質問 支所の位置付けと今後の方向は。

市長 支所は、窓口中心の地域密着型の住民サービスに特化した組織と考えている。

本庁と支所の乖離（かいり）が指摘されているが、地域の現状を認識しながら改善していく。

防災対策について

質問 住民への防災の具体的な対応策を問う。

市長 行政と地域が連携しての対応と地域相互の助け合いを重視し、地域の避難・消火訓練等を実施しながら地域力を積み重ねたい。

質問 緊急時の住民への周知対策は。

市長 緊急避難連絡網の未整備地区の解消のため、防災無線を整備し、市内全域に屋外拡声装置を設置する。移動型無線設備で相互に地区連絡できるものにする。

南佐渡森林組合問題はどうなったか

質問 混迷する南佐渡森林組合のその後の状況を質す。

観光商工課長 緊急雇用対策事業での不正受給金660万円は、平成16年10月までに県を通じて国に返還されている。

農林水産課長補佐 造林事業での不適正補助金は、利息を含めた2500万円が平成17年8月に森林組合より県に返還されたと聞いている。森林組合では今後5年間での再建計画を協議している。

質問 林業行政を推進する立場からの南佐渡森林組合への市の対応を問う。

市長 これ以上混乱しないよう市も注目している。島内の他の森林組合とも連携しながら対応したい。

小中学校の統廃合と島内高校の将来はどうなる

質問 小中学校の統廃合の将来の考え方を問う。

教育長 小中学校とも複式学級をつくらないことを基本に考えている。中学校は、1学年2学級の6学級編成の学校づくりを考えたい。平成23年～29年入学者を想定して、小学校は13校プラス距離等で通学が無理な地域として3校。中学校は、6校プラス3校に統合をと考えている。

質問 島内高等学校の学級減を含む再配置の動向と、その対応への考えを問う。

教育長 県教委では、佐渡学区は平成21年～25年にかけて小規模校の統合再編を進める予定だ。平成20年には中高一貫教育校の設置も検討予定で、単位制高校の配置意向も聞かれる。これらを平成17年11月、市の教育環境整備検討委員会に諮問した。答申を受けて市の考えをまとめ県へ報告したい。

再び近藤福雄記念写真コンテストについて

質問 近藤福雄記念写真コンテストの企画事業費、運営方法を質す。

教育長 先の議会で指摘を受けて検討を加えてきた。賞品、審査基準についても近藤福雄氏の原点である佐渡の風俗、風景を活写したものであることを基準とする。